

2016 年度総会議案

<2015 年度の活動報告>

◎これまでの活動状況

5 月末に第 1 回活動推進会議を開催。もりねっとの山本さんに現状を踏まえたアドバイスをいただき、全域でのササ刈りとともに、広葉樹を残して針葉樹を間伐し、将来的に自然林を再生させる大枠の方針を決めた。当面の伐採方針は、大きく育てる木を決め、それと競合しているナンバー 2 の木を中心に間伐することとし、翌月から実際の活動が始まった。

6 月から 7 月にかけて西側のカラマツ林の間伐と笹刈りを実施し、このエリアはいったん施業完了とした。

10 月に東側のカラマツ林の間伐に着手し、1 月末から 2 月にかけて、札幌市森林組合の間伐作業を仕事としているプロの山田さんに業務委託の形で標準地の間伐と東側全体の危険木などの伐採を行った。

2015 年度は施業初年度のため、冬季の風雪の影響が間伐後の林内にどの程度の影響があるかわからず、伐採率はあまり明確にできず、林冠の込み具合を感覚的に判断して伐木を決めていた。

間伐材利用（当初薪利用を想定）のための搬出に関しては、軽架線セットを購入して講習会も実施し、活用できる見通しがついた。ただし、ウインチが未購入であり、積雪期に入ったこともあり、実際の搬出作業は来年度に持ち越しとなっている（ほとんどの材が林内に置かれたまま）。搬出に関しては軽架線の実績はあるが、山本さんが使っている PC ウインチも実証してみる。

間伐材の有効利用と環境教育への活用の一環として、ログドラム作りワークショップを実施したところ。薪利用以外での間伐材利用の可能性が感じられた。ログドラム以外でも間伐材利用のアイデアが期待される。

<2016 年度の活動>

①月 1 回の頻度でササ狩り、間伐、搬出を行う。

②森林整備

間伐（東側カラマツ林）

笹刈り（西側カラマツ林、広葉樹林）

搬出（東側カラマツ林、西側カラマツ林）

研修（選木、チェーンソー技術、安全講習、救急救命）

③森林利用

薪作り（玉切り、薪割り、薪積み）

ウッドドラム作り（講習会ではなく、ある程度の個数を作る活動）

原木しいたけ栽培

白樺の樹液採取と活用

自然観察会／スノーシューハイキング／木育活動（グリーンウッドワーク）／遊歩道作り